

グリーンスクール表彰を受賞

特色ある優れた環境教育の実践活動に取り組み学校に贈られる知事表彰「グリーンスクール表彰」を三原中学校と洲本実業高校が受賞して市役所で10月9日、報告会が行われました。

三原中学校は理科部を中心に「よみがえれ！ホタルの里」をテーマに昭和46年から40年以上にわたって蛍の人工飼育・放流活動を行っています。産卵箱の準備から幼虫の飼育、観察、放流活動を続け、論鶴羽ダムや成相川周辺に蛍が飛び交う環境づくりに貢献しています。地域のみなさんとの「観蛍会」開催や「蛍の郷の看板」の設置なども進めました。蛍の名所として



▲中田市長と三原中学校、洲本実業高校の受賞関係者

て観光客などから毎年学校へ観賞時期の問い合わせも数多く寄せられるほどです。

洲本実業高校は、三原中学校卒業生も在籍する情報通信部を中心に「あわじ環境未来島構想」の推進に貢献する取組で受賞しました。地域に街路灯が少ないとの要望から、生徒が微風でも起動できる風車を発案・開発し、ニッケル水素リチウムイオン電池に風車の電気を蓄えて、自然エネルギーでLEDが光る街路灯を設置しました。受賞報告を受けた中田市長は「若い人



▲蛍の幼虫を放流する三原中学生



▲開発の風車と洲本実業高校生

たちが積極的に取り組み挑戦することに感謝したい。すばらしい2校の取組が評価されたことは喜ばしいこととお祝いの言葉を贈りました。

淡路人形洋画展9日まで!!



▲淡路人形洋画展を楽しむ来館者

淡路人形浄瑠璃資料館で鈴木裕さんによる淡路人形洋画展を開催しています。鈴木さんは6年前に同館で開催された写真会で淡路人形を描いたのをきっかけに、長年にわたり同館に通い描き続けています。中でも同館が所蔵する明治・戦前に徳島県で活躍した人形師「天狗久」の頭に惚れ込んだそうです。今回展示されている作品は、弁慶や静御前など同館で描かれた32点の作品が並びます。

同館の中西館長は「丁寧なタッチで淡路人形が描かれている。それぞれの人形の個性が表現された作品を是非鑑賞して欲しい」と話され、鈴木さんは「今回の洋画展を通して、淡路人形の素晴らしさを知ってもらえれば嬉しい」と話してくれました。

◆鈴木裕 淡路人形洋画展

▽期間 11月9日(日)まで

▽入館料 無料

◎淡路人形浄瑠璃資料館

☎43・5037

玉青館で特別展を開催中!!

滝川記念美術館玉青館で10月11日から特別展が開催されています。今回の特別展は直原画伯の孫で日本南画院の理事・審査員を務めている綾佳子さんの呼びかけで集まった5人の女流画家によるものです。

「気ままに描く女流5人展」と題された今回の特別展では、画法や画材、サイズなどの指定をせずに出品されています。伝統的な南画の技法を用い、その上に自らの独創的なアイデアを重ねて

描き上げられた絵画や掛軸、屏風などの作品が並びます。同館の福田学芸員は「テーマを設けずに自由に表現された作品は、5人それぞれの特徴が良く出た作品展となっている」と話してくれました。

◆ギャラリートーク(無料)

▽日時 11月20日(木)

午前10時30分

▽講師 月居和子先生、綾佳子先生、山本あずみ先生

※入館料大人300円

◎玉青館 ☎36・2314



▲女流画家による特別展が開催されている玉青館

吉備国際大学からのお知らせ

◆心と健康に関する豆知識 秋〜冬にかけてのうつ病に「用心」!

吉備国際大学心理相談室長の渡辺です。夏のにぎやかさが落ち着き、秋はなんとなくの悲しさすら感じる季節です。秋の夜長、じっくり好きなことに取り組めるようであればよいのですが、秋から冬にかけてやる気が出ない、いらぬ不安がある、眠気が強い、過食気味になるなどがある方は季節性気分障害(季節性うつ病)を疑ってみてください。一般のうつ病は食欲減退や眠りが浅いなどの症状を起しやすくとされるのに対し、過眠・過食を伴う季節性うつ病は見逃されやすいと言われます。治療はうつ病としての薬物療法のほか、高照度の光を一定時間浴びる光パルス療法が有名です。すなわち、うつ気分に対しては日光を適度に浴びることが有効で、日照時間の長い西日本では低リスクと言えますが、一日中室内に居ることの多い方は可能性があるので、また男性に比べ20代〜40代くらいまでの女性に比較的多いと言われております。冬場に甘いものを過剰に食べたくなる女性の方は特に注意を。

◆アジア国際子ども映画祭 2014のお知らせ

アジア国際子ども映画祭 2014においてラオスとベトナムの中学生が来校し、学生と交流します。その際、国際協力機構(JICA)の活動を紹介し、その場で、国際協力にご興味のある方は是非ご参加ください。

▽日時 11月27日(木) 午後1時〜5時

▽場所 吉備国際大学地域創成農学部大講義室

◆第2回「健康増進」市民シンポジウム・サプリメントよりも野菜(無料)

▽日時 11月24日(月) ①午後1時30分 ②午後2時40分

▽場所 吉備国際大学地域創成農学部大講義室

▽内容 ①サプリメントのうたい文句にまどわされてはいけません ②サプリメントよりも毎日の野菜の方が良い

▽演者 ①中塚正博氏(日本食品開発研究所代表取締役) ②金沢和樹氏(吉備国際大学地域創成農学部教授)

◎地域連携センター ☎42・4708

ふれあい市長室

最後のアジア国際子ども映画祭

～来年度は北海道北見市で開催～

南あわじ市長 中田勝久

10月に入って、大型台風18号、19号が相次いで襲来しました。被害を被られた市民の皆さんに心からお見舞い申し上げます。

今年のノーベル物理学賞に日本から米国カリフォルニア大学サンタバーバラ校の中村修二教授、名古屋大学の天野浩教授、名城大学の赤崎勇終身教授の3名の方々が選ばれました。20世紀中の実現は困難と言われていた青色LEDを実現させた功績によるものです。失敗を重ねながら、いつまでもチャレンジしていく精神で研究に取

り組まれてきた結果であると思います。同じ日本人として誇りに思うとともに、あきらめずにチャレンジしていく姿勢を忘れることなく、施策に取り組んでいきたいと心をあらたにしているところです。

食欲の秋、スポーツの秋を迎え、市内でも食と文化の市民まつりや畜産共進会、文化祭や南あわじ市スポーツフェア等様々なイベントが開催され、多くの人でにぎわいました。500年の伝統を誇る淡路人形浄瑠璃では、淡路人形座が50周年を迎え、感謝の特別公演を開催します。是非、この機会に淡路人形座へお越し下さい。

また11月29日(土)には、アジア国際子ども映画祭南あわじ市大会を予定しております。俳優・歌手の杉良太郎氏が提唱され、平成23年度から南あわじ市で開催してまいりましたが、今年が4回目、来年度からは北海道北見市へとパトナタッチします。南あわじ市での最後の本選

大会、是非とも大盛況のうちに有終の美を飾り、北見市へと引き継いで参りたいものであります。多くの市民の皆さんの参加をお待ち申し上げます。

さて先月、近畿の経済と暮らしを支える港づくり意見交換会、全国漁港漁場大会が開催され、それぞれ近畿港湾協議会会長、兵庫県漁港漁場協会会長として出席してまいりました。同意見交換会では、近畿の町町長、衆・参両院議員と意見交換をいたしました。会長として近畿地区港湾の整備振興について強く要請するとともに、南あわじ市長として市内港湾・漁港の防災減災対策の推進についてもお話しさせていただきました。国会議員の先生方にも熱心に耳を傾けていただきました。また、同漁港漁場大会では兵庫県の会長として、水産物の消費拡大と防災減災対策の推進についての議案を提案してまいりました。

昨今、自然災害が多発しております。地震・津波だけでなく、水害対策においても、油断なく取り組んでまいります。市民の皆さんにおかれましては、ご自愛いただきますとともに、施策へのより一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。